

学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ、「真剣味・真善味」創立以来の建学の精神、校訓の下 50 数年の歴史を刻み文武、特進、国際、普通、商業、通信制それぞれのコースの特色を生かされる様、生徒ひとりひとりと接して指導して頂いております。高校生活を送るには、まず生活面に於いての高校生としての身だしなみ、礼儀作法がととのわなければ「建学の精神」「校訓」の達成も叶いません。月一で行われる「外面チェック」により、生徒の意識の向上に繋がっていると思われまます。

令和元年度、特進コースを中心に世界遺産検定に高い合格率を始め、多くの検定に挑み生徒の可能性を引き出し又そこから興味持ち更なるステップを目指す姿。「中京高校は塾に通う必要が無いね」と言われます。担任の先生を始め教職員が目を配り、三者懇談などの確な指導により来る入試に向けて 1 年生時より指導頂けられる環境は保護者としては心強く有難く感じます。結果、国公立 14、私立 338、短期大学 54、専門学校等にも進学、就職に於いても各種企業に内定しています。

スポーツ面に於いては、硬式野球部が 3 年ぶりの甲子園出場、創部初のベスト 4 と輝かしい結果、部員の努力は言うまでも無く、甲子園のスタンドでの生徒が一丸と成って応援する姿に感動を覚えた瞬間でした。

軟式野球部は、全国大会二冠三連覇の偉業を成し遂げ、益々「打倒中京」と追われる立場も更なる記録の達成が楽しみです。また、陸上部、サッカー部、スケート部、剣道部、柔道部、等々ここに表記出来ないほどのクラブ、個人競技に於いてもインターハイ、国体での活躍が有りまさに建学の精神の実証で有ると思わざるを得ません。

地域活動に於いても毎朝交差点に立ち生徒の安全はもとより、自動車運転者、通学道近辺の民家への気配り特色の一つで有り、それが 12 月に行われるバサラカーニバル参加にも繋がる地域密接の姿だといえるでしょう。

最後に私自身本校の卒業生で有り、学校に立ち寄る度に自身の高校時代を思い出すと共に、私学で有るからこそ当時お世話に成った先生方がおられ共通して話せる事、なつかしさに触れる事の出来る有難さがそこにあると思います。

子供達が卒業したのち懐かしく立ち寄る事の出来る場所であり、中京高校卒業生で良かったと思える三年間であってほしい思う次第です。

校長先生を始め教職員皆様には益々ご指導宜しくお願い申し上げます。